

whiteness

TAKAYA FUJITA



静謐な空気に支えられた 「気高い人体」という存在

さながら、目の前の人の居る空間の中から
幾つもの「生」の摂理を見出すかのような意志が立ち昇っている。

(野地耕一郎 寄稿より抜粋)